

白鷹町誕生 70 周年記念 第 47 回白鷹鮎まつり・第 59 回白鷹若鮎マラ



大雨の中激走、
675人のランナー、

9月22日、「第59回白鷹若鮎マラソン大会」が開催されました。

今年は、町誕生70周年を記念して、箱根駅伝出場大学からゲストランナーを迎え、小学生から70代のランナーが参加しました。悪天候にもかかわらず、沿道には多くの観客が詰めかけ、懸命に走るランナーにエールを送りました。走り終えたランナーには、豚汁や玉こんにゃくが振る舞われ、ボランティアの活躍も光りました。

また、前日には「ランニングクリニック」が行われ、順天堂大学陸上競技部OBの堀内郁哉氏と藤原優希氏を講師に、関節の動かし方や筋肉の使い方を教わり、町内外から24名が参加し、有意義な時間を過ごしました。



しらたか秋の味覚
 思う存分にー。

9月21日、道の駅白鷹ヤナ公園
 あゆ茶屋を会場に「第47回白鷹鮎
 まつり」が開催されました。

会場には、香ばしく焼き上げた
 鮎の塩焼きのほか、山形名物の芋
 煮や旬の食材をふんだんに使用し
 た炊き込みご飯などが並び、旬の
 味覚を求めて大勢の方が訪れました。

また、バルーンアートや深山焼
 き電動ロクロ体験などは、家族
 連れの方で大いに賑わいをみせま
 した。

あいにくの雨模様となり、規模
 が縮小されたの実施となりました
 が、訪れた大勢の方に、しらたか
 の秋を堪能していただきました。

